

# 環境報告書 2011



ご挨拶

「環境報告書2011」の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は、NECグループの北陸地域におけるSI事業・ソフトウェア開発事業の展開拠点として設立されました。地元企業に対するSIサービスの提供を通して地域の活性化を図ることは、当社の重要な使命と考えております。

現在、人々が社会生活を営むうえで、さまざまな活動が地域環境へ及ぼす影響が強まる中、CO2削減の取組みをはじめとする環境保護の活動の重要性はより高まっています。当社では、環境保護の取組みとして、本業におけるECOソリューション開発をはじめ、テレビ会議の活用による出張の削減やペーパーレス化の推進に取り組んできました。加えて本年は震災以後消費電力の削減が急務となっており、一層の電力削減を推進いたします。

この「環境報告書2011」は、2010年度における環境活動の内容と成果並びに2011年度の環境目標をまとめさせていただきました。

一読していただければ幸いです。

代表取締役社長  
廣島 清剛



当社の会社概要については、以下をご参照ください。

<http://www.hnes.co.jp/company/index.html>

# 目 次

- 1 . 環境方針
- 2 . 環境マネジメントシステム
- 3 . 環境負荷状況
- 4 . 重点管理項目への取り組み
- 5 . 環境教育と意識啓発活動

# 1. 環境方針

当社は、付加価値のある情報・技術・サービスを提供し真心で人々の可能性を拡げ夢溢れる未来の実現に貢献している。社会や企業にあらゆる分野において利便性や効率性を向上させるだけでなく、人と人とのつながりを深め、人とコンピュータの垣根を取りのぞき、これまでできなかったことを可能にする。

その中で当社の特徴である多数の情報関連機器使用によるエネルギー消費及び多量の紙類を主とする資源の使用と排出を考慮して以下の方針に基づき地球に優しい環境マネジメントシステムを確立しこれを積極的に推進する。

1. 当社の活動、製品、サービスにかかわる環境側面を考慮して、次の項目を重点的に取り組む。
  - (1) **環境に配慮したソリューションの提供**  
環境に配慮したシステムとサービスをお客様に提供していくことにより、地球環境保全活動の積極的推進を図る。
  - (2) **省資源活動の推進**  
紙類を主とする排出物の分別徹底によるリサイクル化促進と、環境配慮型商品の購入推進により、省資源化と資源の枯渇抑制を図る。
  - (3) **省エネルギー活動の推進**  
電気を主とする省エネルギー活動推進により、地球温暖化防止と資源の枯渇抑制を図る。
2. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善及び汚染の予防を図る。
3. 国、地方自治体等の環境規制及び当社が定めたその他要求事項を遵守する。
4. 環境方針に沿った目的及び目標を設定し、文書化すると共に定期的又は必要に応じて見直しを行い、継続的改善を図る。
5. 環境方針は、全従業員及び構成員に周知徹底すると共に、求めに応じて社外に開示する。
6. 当社は社員ひとりひとりが社会の一員として環境にやさしい人になれるよう積極的に環境啓発教育を推進する。

2009年6月18日

北陸日本電気ソフトウェア株式会社  
代表取締役社長 廣島 清剛

## 2. 環境マネジメントシステム

当社の環境マネジメントシステム(EMS)は、経営トップ(社長)をその統括責任者に据えて、環境管理責任者、内部監査チーム、環境管理委員で推進体制を構成し、環境活動を推進しています。

各部門から選出された環境管理委員は、環境方針や環境目的・目標に基づいた活動が全社員に周知徹底されているかを確認し、問題があれば是正を行い環境改善活動の定着化を図っています。

### (1) ISO14001の取得

初年度登録日： 2005年 3月11日  
登録日： 2007年11月22日  
登録更新日： 2010年 3月19日  
改定日： 2011年 4月 1日  
有効期限： 2013年 3月18日  
登録活動範囲： 顧客要求に基づく下記のソフトウェアの設計・開発  
・官公需系のアプリケーションソフトウェア  
・民需系のアプリケーションソフトウェア  
・各種コンピュータの基本ソフトウェア、ミドルソフトウェア及びユーティリティ

統合： JQA-EM4586をJQA-EM5952に統合

# ISO 14001

## マネジメントシステム登録証

登録証番号： JQA-EM5952S

---

登録事業者：  
北陸日本電気ソフトウェア株式会社  
本社：石川県白山市安養寺1番地  
富山事業所：富山県富山市高田527（富山県総合情報センタービル）

登録活動範囲：  
顧客要求に基づく下記のソフトウェアの設計・開発  
・官公需系のアプリケーションソフトウェア  
・民需系のアプリケーションソフトウェア  
・各種コンピュータの基本ソフトウェア、ミドルソフトウェア及びユーティリティ

統合： JQA-EM4586をJQA-EM5952に統合

---

主登録証番号： JQA-EM5952  
主登録事業者：  
日本電気株式会社  
東京都港区芝五丁目7-1 NEC本社ビル

標記登録事業者は標記登録活動範囲において、当機構が下記規格の要求事項に適合していると認めた上記主登録事業者のマネジメントシステムに含まれていることを証します。







ISO 14001 :2004 / JIS Q 14001 :2004

登録日： 2007年 11月 22日  
登録更新日： 2010年 3月 19日  
改訂日： 2011年 4月 1日  
有効期限： 2013年 3月 18日

一般財団法人 日本品質保証機構  
理事長 森本 修

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

東京 日本



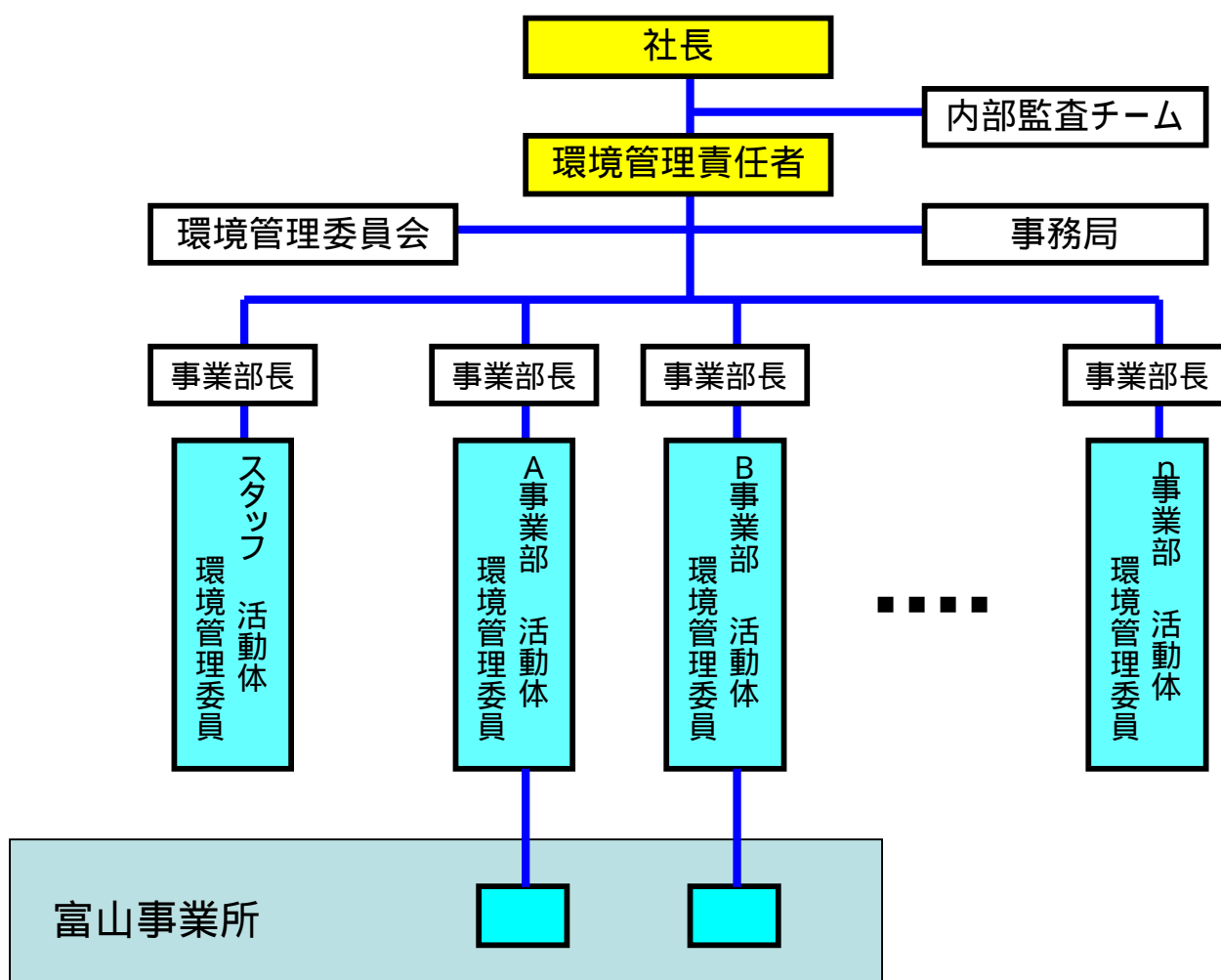
10.03 295019181

## (2) 環境マネジメント推進体制

当社のEMS推進体制は、経営トップを統括責任者に据え、内部監査チーム、環境管理責任者、事務局、および事業部門長、環境管理委員で構成しています。

環境管理委員会の中で環境活動状況(目標設定、毎月の進捗チェック等)の確認を行っています。

環境管理委員は、環境管理責任者の諮問機関として、事務局と協調して、環境目的、目標および環境マネジメントプログラムの策定を支援し、部門ごとのマネジメントプログラムを策定して、月度・年度目標の達成に向けて活動します。



### (3) 監査、審査の実施

#### 内部監査

環境マネジメントシステムが有効でかつ妥当なものであるかを検証するため、定期的に社内で環境監査を実施し、継続的な改善を図っています。内部監査の結果、改善を要する問題が発見された場合には、問題の原因分析を行い、是正処置計画を立て、是正処置を確実に実施していくことで、マネジメントシステムの継続的改善を図っています。内部環境監査は年1回、すべての部門に対して行っています。監査員は内部監査員研修を終了した者(資格取得者)の中から選出し、監査チームを構成して監査を実施しています。

#### 外部監査と外部審査

##### NEC環境経営監査

NECグループ企業の一員として、NECによる「環境経営監査」を、毎年1回、ISO14001に基づいて監査を受けています。この監査は、「NEC環境経営推進計画」に基づいてNECグループの全社員が高い環境意識をもって活動できるようにするとともに、各社の優れた事例等の水平展開を行い、環境経営の活性化を図っていくための監査です。

##### 外部審査

外部審査機関(財)日本品質機構より、環境マネジメントシステムの維持、管理がISO14001の規格に適合の可否を年1回の継続審査、3年に1回の更新審査を受け、維持・改善を行っています。

### 3. 環境負荷状況 (2010年度実績)

INPUT		OUTPUT	
電力	2,082,930kwh	一般廃棄物	12.7t
LPガス	8.0t	産業廃棄物	30.3t
灯油	50.2kl	水(下水道)	9,739kl
ガソリン	2.9kl		
軽油	0.7kl		
水(上水道、地下水)	12,597kl		
紙	4.8t		

## 4. 重点管理項目への取り組み

### (1) 2010年度 環境活動目標および実績

#### エコ・ソリューション開発促進

業種・業態にかかわらず、すべての企業において「環境に配慮した経営」が求められています。当社は、ITを推進する企業として、お客さまの環境への取り組みを支援するソリューションを活発に提案しています。企業が製品開発、設計、生産といった活動を行う際に不可欠なグリーン調達や、環境活動を補足する環境パフォーマンス管理などのソリューションは、様々な企業や官公庁に採用されており、こうした面からも環境の保護に貢献していきたいと考えています。

指 標	目 標	実 績	評 価
全ソフトウェア製品に占めるソフトウェア製品環境アセスメント( 1 )の実施率	10%	21.8%	
全ソフトウェア製品に占める環境負荷評価ツール( 2 )の使用率	1%	2.4%	

- 1 環境配慮型のソフトウェア製品の開発のため、設計の段階で省資源、省エネルギー、リサイクル可能性等について評価を行うことをいいます。
- 2 お客さまの事業運営に伴うCO<sub>2</sub>排出量が、当社ソフトウェアの導入前と導入後でどの程度削減できるかを集計するツールです。

#### 環境負荷削減におけるCO<sub>2</sub>削減

目標達成のため、次の施策を実施し、CO<sub>2</sub>削減に向けての活動を行いました。

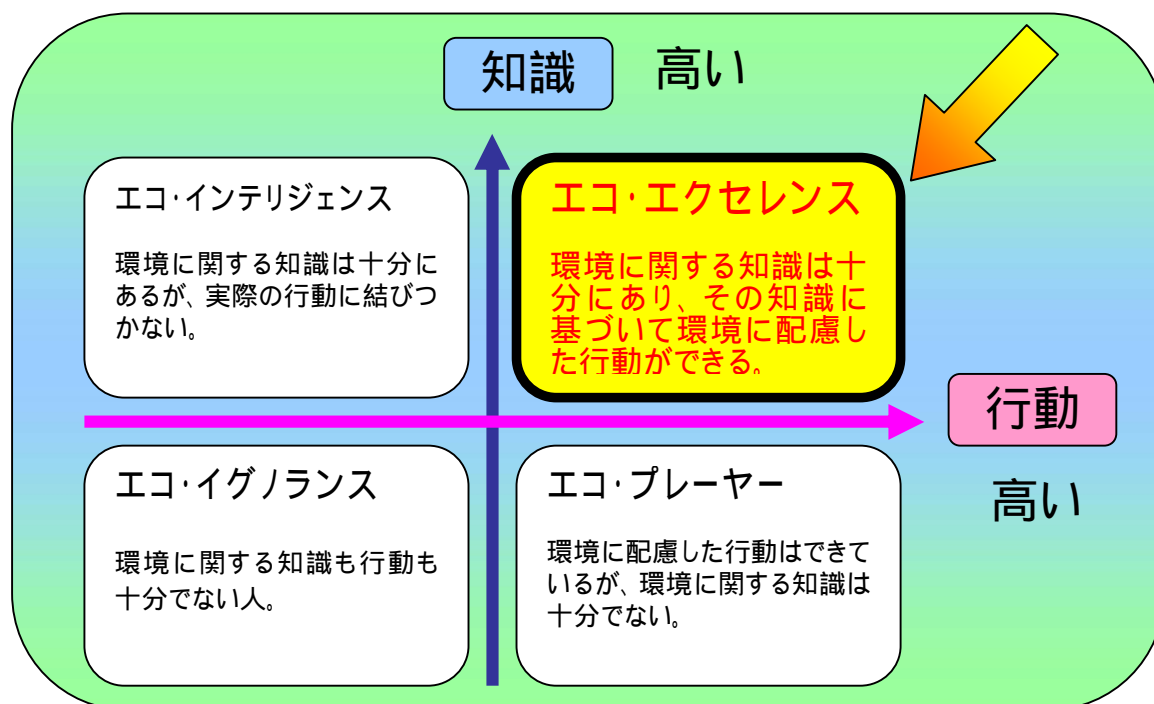
- ・空調運転時間の短縮と設定温度の適正化
- ・外灯点灯時間の短縮
- ・昼休みの消灯実施

上記施策により削減を進めましたが、夏の猛暑と冬の厳冬により空調に要する電力と灯油が、施策による削減以上に大幅に増加し、達成できませんでした。

指 標	目 標	実 績	評 価
CO <sub>2</sub> 発生量 2009年度比	-1%	+4.3%	×

## 環境意識向上

「NECグループ環境経営意識調査」を当社でも実施し、環境における知識を身につけ行動も伴った環境への意識が高い層(エコ・エクセレンス層)を増やすことを目標にしています。



指標	目標	実績	評価
全社員に占めるエコ・エクセレンス率	100%	100%	

## (2) 2011年度 環境活動目標

### エコ・ソリューションの開発拡大

エコ・ソリューション開発を継続し、拡大します。

指標	目標
出荷判定対象ソフトウェア製品に対する環境アセスメントの実施率	50%以上
出荷判定対象ソフトウェア製品に対する環境負荷評価ツールの使用率	5%以上

## 地球温暖化対策の推進

使用電力量を削減することにより、排出するCO<sub>2</sub>の削減を目指します。  
具体的には、以下の施策を実施します。

- ・空調(冷暖房)運転時間の短縮と設定温度の適正化
- ・ロビーや作業フロアの減灯
- ・昼休みの消灯
- ・PCの省電力設定

指 標	目 標
CO <sub>2</sub> 発生量 2010年度比	1%削減

目標設定後、夏季の電力需給状況の変を受け、一層の削減を進めます。

## 環境人材の育成強化

環境教育の実施により、環境への意識を高めます。

指 標	目 標
環境教育受講率	95%

## 生態系・生物多様性保全の観点での 環境貢献活動の推進

環境保全活動として、クリーンロードと花壇の花植えを実施します。

指 標	目 標
環境保全活動の参加者数	のべ100人

## 5. 環境教育と意識啓発活動

### (1) 環境教育

- ・新入社員教育
- ・新任推進者教育
- ・NEC全従業員環境教育

### (2) 意識啓発活動

- ・環境メールマガジンの案内  
エコハイライト、環境関連ニュース、国内外環境動向、  
イベント・セミナー情報
- ・環境月間行事への参加案内  
COOLBIZ(夏季の軽装)  
WARMBIZ(冬季の暖かい服装)  
ライトダウンキャンペーン
- ・県民エコライフ大作戦への参加案内

## 編集後記

この環境報告書は、当社の環境に関する取り組みを皆様にお知らせすべく作成しています。

この環境報告書により当社の取り組みについて皆様のご理解を深めていただければ幸いです。

また、今後の環境保全活動、環境報告書の内容をより充実させていくために、皆様の忌憚のないご意見をお寄せください。

### 問い合わせ先

〒920-2141

石川県白山市安養寺1番地

NECソフトウェア北陸 経営管理部 環境事務局

TEL 076-273-4600

発行日 2011年7月20日